

2006年6月12日

BMW Motorrad World News 2006 Vol. 16

* 以下のニュースは BMW AG 発行のニュースレターの翻訳であり、日本市場への導入とは関係の無い場合があります。

- ◆ Baja レース、いよいよ開幕
- ◆ 24 時間耐久レースへの挑戦
- ◆ HP2 Enduro、Baja を完走

【Baja レース、いよいよ開幕】

Baja レースとは、オフロードの世界的コミュニティの間で伝説として語られているレースであり、今週末にメキシコで行われる Baja 500 レースに BMW Motorrad も出場する。

毎年開催されている Baja レースには、Baja 500、1000、サン・フェリペ 250 という3種類がある。バイク、トラック、バギーライダーの狙いはただ1つ メキシコのバハ (Baja) 半島を勝利の栄光目指してひたすら走りぬけるのだ。オフロード・モータースポーツに力を入れている BMW Motorrad も HP2 Enduro のチームを結成し、最も過酷なレースに挑む。



今年の Baja 500 レースには、BMW Motorrad のオフィシャル・ライダーであるシニー・レイスが HP2 Enduro で帰ってくる。オフロードのベテランライダーであるアメリカ出身の彼は過去に Baja 1000 で優勝した経験を持ち、HP2 Enduro で Baja 500 レースに出場できることを楽しみにしている。チームメイトはデイブ・ドナトーニ (HP2 Baja チームの全てに名を連ね、最高位は Baja 1000 で 2 位) とボー・ヘーデン (昨年の HP2 Baja 1000 チームで 3 位) だ。

シミーは、「カリフォルニアに生まれたなら、Baja レースには出ないとね。とにかく危険なんだけど、ゴールするだけで達成感があるクレイジーなレースだよ。優勝だなんて大それたことは言わないよ。僕らのゴールはレースに出場して、レースを楽しんで、最も過酷なレースから学んだことを今後の HP2 の開発に役立てるってことなんだ」と語っている。

今年の Baja 500 は、6月 4 日(日曜)の午前 6 時にメキシコ沿岸の町エンセナダ(アメリカとの国境から南に 120Km)からスタートする。エンセナダは今年のレースのスタート地点とゴール地点を兼ねている。ライダーはセント・ピンセント島を含むカリフォルニア半島全域、全長約 700Km のコースを走破する。

BMW Motorrad には、HP2 Enduro のレースで最も経験豊かなライダーがいる。シミーは Baja レースや 4 つのダカール・レースにも出場しているので、100 馬力以上の長時間にわたるオフロードレースに準備万端のライダーは彼の他にいないだろう。



「HP2 Enduro は期待以上の仕事をしてくれるんだ。BMW のバイクは大きな馬力と後輪のエアサスペンションのバランスが優れてるから、後輪が浮き上がらないんだ。ガタガタした路面でも HP2 Enduro は跳ねないし、バウンドしないし、今までのリアサスペンションのバイクみたいに段差につまずいたりもしない。土を切り裂いていくって感じだよ！」と、シミー(写真左)は語る。

「500 のコースはかなりきつくてテクニックが要るし、とてもラフで、しかもトラックやバギーが道を荒らしていくんだ。だから小型で軽いバイクが最適なんだけど、ゴールするだけでもすごく大変なんだ。幸運を祈っててよ！」

【24 時間耐久 レースへの挑戦】

先週末の過酷なエルツベルグ・ロデオ（シモ・カーッシが 2 年連続でプロローグに優勝したレース）から帰還した BMW Motorrad のチーム・オフロードは、次に出場する全く異なるタイプのレースに備える時間がほとんどなかった。

そのレースとは、ドイツのクロス・カントリー・チャンピオンシップの一環として旧東ドイツのケムニッツ近郊で開催される 24 時間耐久 レースだ。



このイベントはチームと HP2 Enduro にとって、3 月のスノー・スピードヒル大会や週末のエルツベルグ・レースを凌ぐ、これまで最も過酷な挑戦となるだろう。バイクはシモ・カーッシがエルツベルグで優勝したのと同じマシンだが、今回のレースでは 1 人のライダーだけでなく 4 人のライダーの要求を満たさなければならぬと、チーム・マネージャーのウルフガング・フィッシャーは語る。

「プロのチームが出場するプレステージ・クラスでは、4 人のライダーに許されているのは 1 台のバイクのみ。アマチュアライダーには 1 人 1 台が許されていますが、我々は 1 台のバイクを 4 人で乗り回さなければならないので、セッティングを変更する時間も無駄にできないんです」



4 人 1 組のチームには、先週末のエルツベルグに 出場したシモ・カーッシとゲルハルト・フォスターの他に、ドイツのエンデューロ・レースのスペシャリスト サッシャ・エッケルトとヘッリングゲンにある BMW オフロード学校のインストラクター、ワーナー・ハウボルトがメンバーに入っている。

レースは一晩中続くというだけでなく、レース直前の 1 週間は豪雨が続いたので状況はさらに厳しくなった。豪雨の影響で、天候は回復に向かっているが、サーキットの路面はレースまでに回復しそうもない。

これについてウルフガングは、「（雨のせいで）トラックはかなり厳しいだろうね。サーキットは起伏があるし、森がたくさんあるからぬかるんでるだろうし、バイクとライダーにはかなりのストレスがかかってタフなレースになるんじゃないかな」と語る。

しかしチーム・マネージャーは、このような悪条件のレースだからこそ HP2 の強みを発揮できると考えている。『HP2 は非常に力強くパワフルなマシンなので、うまくやってくれると思います。ヘッドライトは標準仕様なので、夜間のステージにも最適です。必ずや良い成績が残せると確信しています』



【HP2 Enduro、Baja を完走】

最も過酷で最も困難と言われている Baja レースにおいて、今回の Baja 500 で BMW Motorrad のシミー・リース、デイブ・ドナトーニ、ボー・ヘーデンがチームをこれまでの最高位に導いた。メキシコのバハ半島、全長約 700Km のコースを 10:38:07 でゴールした彼らの平均時速は約 60Km。結果はバイク部門で 6 位、総合で 8 位に入った。

シミーはレースを振り返って次のように語る。『何もかも順調だったよ。少しずつの改良でマシンはどんどん良くなってきてるし、ライダーからスタッフに至るまで、レースのたびにチームの結束が固くなっているんだ。僕らが今日こんなに速く走れたのは、スタッフのみんなのおかげだよ』

濃い霧の中、最初のチェックポイントまでの約 60Km を走ったのはシミーだった。『スタート直後は僕の前に 1 台もいなかったんだ。路面が悪くて岩の多い所で、総合 2 位に入った 1X チームのマイク・チルドレスにだけは抜かされたけど、3、4 台は抜き返して、ボーにつながったんだ』



ボーが走ったのは全長 160Kmにも及ぶ、通称‘松の森’。コースの北側に位置する急カーブの多い道で、ボーの前にいたのはオープン・プロバイクの 3 台とクラス 30 のチーム(30 歳以上のライダー)の何台かだけだった。雨で泥が流されて条件は最悪で、ちょっと気を抜くとタイヤを取られそうだったから慎重に走ったんだ」

3 時間後、ボーはジミーにバイクをつないだ。次にジミーが走るのはマイクス・スカイランチョのチェックポイントまで。ここでの彼の使命は、12 位から順位をさらに伸ばすことだった。



僕がこれまで経験したコースの中でも、一番ひどい道だったよ。でも経験上、気温 37 以上という気温が他のライダーを疲労させるということを知っていたからね。こんな道に HP2 は馬力がありすぎると誰もが思っていたけど、とてもなめらかな走りだから他のライダーにこっそり忍び寄ってはアクセルをひと吹きすると、みんなヘリコプターが不時着するみたいに道をあけてくれてね。水平 2

「気筒エンジンが奏でる音にはこんな効果があるんだよ」

ここでレイスは 6 チームを抜かしてディップにつないだ。ディップが走ったのはバエ・デ・トリニダードの海岸線。ダウンタイムもなく停止も給油のみだったので、太平洋に沿ってサント・トマスまで、タイヤがダメになる直前まで好調なペースを保っていた。‘タイヤからは煙が出てたよ。ずっと酷使してたから、ロックのヤマも残ってなかった。それでも前に進もうとしたらスピンしちゃって、それで新しいタイヤに変えることにしたんだ’

スタッフは驚異的な48秒という早さでタイヤ交換を終え、最終チェックポイントのオハス・ネグロスに向かった。『HP2は練習走行やプレ走行とレースでの走りはだいぶ違うってことを、ボーも僕も今回初めて学んだよ。レースでは本当に助けられたし、ここでのライディングは全てが楽しいんだ』

海岸の道から再び遠ざかり焼けるような砂漠に入ると、気温は37℃を軽く超えた。ルイスはゴールの最終コーナーに入った。『コースは田舎道と同じだったから、詳しく分からなかつたんだ。正面からは誰かが近づいて来てた。地元の車と対戦するっていう危険は幾度となくあるから、スコアの方が大事だって思うかも知れないけど、対向車がレースカーともなると事はかなり違ってくる。僕より前には6台いたし、後にも何台かいて、僕と全く同じ状況だったよ。でも、事故も無く無事にレースを終えることができて良かった。ライダーを代表して、素晴らしいピット作業をしてくれたBaja BoundとMag 7のサポートに、そしてチース・トラックのドライバーやその他のスタッフ全員に感謝します』

今回の結果では、HP2が初めて四輪自動車よりも上の順位を獲得し、BajaレースのスコアでもBMWとしてこれまでで最高位となった。ルイスは、『レースを重ねるごとにマシンは良くなっているし、こんなに大きなマシンでレースに挑んでいる我々を応援してくれるファンの存在が本当に心強い。今回のレースでは、僕らが一番速いと確信したコースもあったよ。こんな感覚は他では味わえないし、かなり楽しい』と語っている。

結果

プロ・モーターサイクル部門

- 1位：ロビー・ペル（カリフォルニア州ムリエッタ）/ケンダル・ノーマン（カリフォルニア州サンタバーバラ）Honda CRF450X, 8:59:04 (47.22mph) (クラス 22)
- 2位：スティーブ・ヘンゲヴェルド（カリフォルニア州オークヒルズ）/マイク・チルドレス（カリフォルニア州ライトウッド）Honda XR650R, 9:19:20 (45.51mph) (クラス 22)
- 3位タイ：ブライアン・ピナール（カリフォルニア州ムリエッタ）/ティバー・マーフィー（ワシントン州ウェナチー）Honda XR650R
- 4位：ロン・ウィルソン（カリフォルニア州エンシニタ）/スコット・マイヤーズ（カリフォルニア州サンシティ）Honda CRF450X, 9:45:10 (43.50 mph) (クラス 30)
- 5位：ローガン・ホラディ（カリフォルニア州ロンポック）/クイン・コディー（カリフォルニア州ロス・オリビオス）Honda XR650R, 10:13:11 (41.52mph) (クラス 22)
- 6位：ジム・オニール（カリフォルニア州チャッツワース）/クレイグ・アダムス（カリフォルニア州オーシャンサイド）/トム・ウィリス（カリフォルニア州ラスベガス）/エリック・ブラウン（カリフォルニア州フェニックス）Honda XR650R, 10:24:19 (40.78 mph) (クラス 40)
- 7位：ジェイソン・トゥルーベイ（アリゾナ州ブルヘッドシティ）/ルーク・ドッドソン（カリフォルニア州キャスティーク）Suzuki RMZ450, 10:37:28 (39.94 mph) (クラス 21)
- 8位：ジミー・ルイス（カリフォルニア州コスタ・メサ）/デイブ・ドナトーニ（カリフォルニア州サウザンドオーナス）BMW HP2, 10:38:07 (39.89mph) (クラス 22)
- 9位：J.デビッド・レヴァルカバ / ロゲリオ・パンド（メキシコ・エンセナーダ）Honda XR650R, 10:38:23 (39.88mph) (クラス 30)
- 10位：デビッド・マッキー（オレゴン州ウッドバーン）/デビッド・モートン（オレゴン州キャンビー）/ポール・オストボ（ワシントン州クレ・エルム）Honda CRF450X, 10:38:42 (39.86mph) (クラス 40)